

Special events

2011.12.4 南山大学学生ドイツ語劇「コーカサスの白鳥の輪」

2011年12月4日、名古屋キャンパス・R棟フ ラッテンホールにおいて、2011年度南山大学 学生ドイツ語劇がおこなわれた。演目は「三オ ペラ」で有名なベルトルト・ブレヒト原作の「コ ーカサスの白鳥の輪」。生みの親と育ての親、二人の母親が子どもを争う話を下敷きにして、土の上に白鳥で円を描き、中心に子どもを立たせ、両方から腕を引き、円の外に出した方が真実の親だと争う。しかし、血のつながっていない育ての親は「子どもが痛がり、ばばらになるのを見ていられない」と拒否する…。



迫真の演技を披露するドイツ学科生 (右下白鳥で囲まれた輪)

2011.12.11 南山大学・豊田工業大学連携講演会

2011年12月11日、名古屋キャンパス・R棟フ ラッテンホールにおいて、第6回連携講演会が開 催された。今回は「震災に負けないエネルギー活 用とまちづくり」をテーマに、石川良文社会学総 合政策学部教授が「人口減少社会における持続可 能なまちづくり～震災復興から考える～」、藤崎敬 介豊田工業大学大学院工学研究科教授が「電気 エネルギーの新たな展開～電気自動車とスマー トコミュニケーションを例にして～」と題して講演し、 受講者と活発な意見交換がなされた。 南山大学と豊田工業大学は大学間連携協定を 締結しており、教育・研究分野の相互補完的な資



受講者との意見交換の様子 (左:藤崎敬介豊田工業大学教授 右:石川良文南山大学教授)

2011.12.16 本学卒業生・渡邉利夫駐ポリビア多民族国特命全権大使による母校訪問講演会

2011年12月16日、名古屋キャンパスにおい て、渡邉利夫駐ポリビア多民族国特命全権大使 による母校訪問講演会「最近のポリビア事情と 大使の役割」が開催された。渡邉大使は本学外 国語学部イスパニヤ科(現スペイン・ラテンアメ リカ学)卒業後、外務省入省、ペルー共和国リ マ総領事、ブラジル連邦共和国シフェ総領事 などを歴任。2010年より、駐ポリビア多民族 国特命全権大使に就任。 学生たちは大先輩である渡邉大使の実務に 基づいた「外交」という仕事、ポリビアという国 についての話に真剣に耳を傾けていた。最後 に、渡邉大使は学生たちに「その国を知るには、



ポリビア多民族国の国旗を前に熱弁をふるう渡邉利夫大使

2011.12.17・2012.1.7 南山大学社会学倫理研究所懇話会「3.11以後 何が問われているのか」

2011年12月17日(第1回)、2012年1月7日 (第2回)、名古屋キャンパスにおいて、南山大学 社会学倫理研究所懇話会「3.11以後 何が問われ ているのか」が開催された。第1回は「私たち にとっての科学技術」をテーマに、三好千春本学人 文学部キリスト教学科准教授が「[しうらと] 松下 電一への問い～【暗黒の思想】と環境権～」、平川 秀幸大阪大学コミュニケーションデザイン・セン ター准教授が「科学技術コミュニケーションのこ ころから～日本版『信賴の危機』への応答～」と題 し講演。その後、黒田光太郎名城大学大学院大 学・学校づくり研究科教授をコメンテーターに迎 え、パネルディスカッションがおこなわれた。 第2回は「私たちにとってのエネルギー」を テーマに田所昌幸慶應義塾大学法学部教授による 「エネルギー供給とリスク」地政学的観点に重



第2回懇話会の様子(田所昌幸慶應義塾大学教授講演)

2012.1.11 南山エクステンション・カレッジ公開講演会

2012年1月11日、名古屋キャンパス・R棟フ ラッテンホールにおいて、南山大学創立50周年 記念基金事業・南山エクステンション・カレッジ公 開講演会がおこなわれた。諏訪中央病院名誉院長 の鎌田貴史をお招きし、「困難な時代をどう生 きてか～がんばらなければ、あきらめなければ～」と 題し、ご講演いただいた。 話題は、東日本大震災にはじまり、鎌田先生の ご両親のこと、諏訪中央病院のこと、そして遠く イスラエルにおけるパレスチナ問題にも及んだ。



話題は、東日本大震災にはじまり、鎌田先生のご両親のこと、諏訪中央病院のこと、そして遠くイスラエルにおけるパレスチナ問題にも及んだ。

2012.1.18 南山大学ヨーロッパ研究センター研究会

2012年1月18日、名古屋キャンパスにおいて、 南山大学ヨーロッパ研究センター研究会がおこな われた。ヨーロッパ研究センター長である外国語学 部フランス学科長・真野倫平教授による「グラン＝ ギニョル劇と三面記事」と題した講演がおこなわ れ、その後、聴講者と共に活発な意見交換がなされ た。グラン＝ギニョルとは、フランス、パリに19世紀 末から20世紀半ばまで存在した恐怖劇専門劇場 のグラン＝ギニョル座のこと。同劇場では、時に 血なまぐさく、時に荒唐無稽な、さまざまな芝居が 上演された。 本学のアメリカ研究センター、ラテンアメリカ研 究センター、ヨーロッパ研究センター、アジア・太平 洋研究センターの4センターは、それぞれの研究 活動を基礎として各領域に関する問題の分析を行 うと同時に、地域横断的な下位テーマで小グルー



聴講者の質問に答えるヨーロッパ研究センター長・真野倫平教授(奥)

南山のDNA DNADNADNADNA 出会いとご縁に育たれて 水谷 翔 経済学部 2010年卒業



各方面で活躍する本学卒業生をリレー形式で 紹介していくプレティン版「南山のDNA」シリー ズ、第16回となる今回は社員教育を行う株式会 社アイミックにご協力の水谷翔さんです。 私は南山大学入学初日のことを今でも鮮 明に記憶しています。生まれ育ちも三重県 桑名市の私にとって名古屋はいわゆる「郡 会」でした。全国から学生が集まってく南山 大学に入学し、日々新しい人・場所・モノとの 出会いがあり、自分の世界が広がり、驚きと 感動の連続でした。 大学2年生の時、「起業家育成塾」という団 体に参加しました。就職活動に関するイベント の企画・運営と起業家・経営者・専門家の方々 のインタビューが主な活動内容です。活動は 開始し、それらを通してということを確認させられ ていると感じていました。起業家 約30業種50名以上 の様々な分野のトッ プの方々のご縁を いただいた。人生観、仕 事への想いといった お話を伺い、内容に ついてインターネット を通じて配信もし てきました。起業家 育成塾での活動を生かし、ビジネスプランコン テストに出場した際には、有り難いことに最優 秀賞をいただきました。 一方、生まれて初めて将来のことについて 真剣に考えるようになったのも大学在学時 のことだと思っています。自分が本当にしたいことは 何か、自分は他に価値を見出しているのか、将 来どんな姿になっていきたいのか、といったこ とを新しい出会いとご縁の度に自分自身に問 いかけていました。 南山大学在学中の皆さんには、学生時代に 多くの人と出会い、多くの考え・価値観に触 れ、自分の将来についてよく考える時間を意 識して作ることを心がけて欲しいと思います。 その時間が自ずと、社会人になってから大き な力となるはずですよ。 私は、2011年9月(秋学期)に来日し、外国人留 学生別科に入学するとすぐにジャパンプラザを訪 ねてみることにしました。宿題や勉強を助けて もらっただけではなく、リラックスして コミュニケーション がとれる場所だと 感じました。ジャパ ンプラザのチュー ターの方々もとても 親しみやすく、私



ビジネスプランコンテスト授賞式にて(筆者:左端)

グローバル化と秩序

グローバル化による秩序の変化・変 質を、「移民」という視座から研究している。と くに着目しているのは19世紀から20世紀初 頭にかけたの清からアメリカへの人の移動で ある。この点に注目しながら、「移民」を他者と してきた近代国民国家の秩序形成および公共 圏形成と、思想の越境移動の関係について、 また、移民による対抗的公共圏形成について 考察してきた。最近はその延長線上でアメリ カの非登録移民についても論文を執筆した。 人・思想のグローバル化が進むと

私の研究 おおい ゆき 外国語学部英米学科 講師

もに、研究領域のグローバル化、研究 環境のグローバル化が起きている。社会 圏形成の大きな秩序変化が起きている中 で、権力をもたない人々がどのように秩序の变化・ 形成にかかわることができるのか、それがよ るように可能になるのか、ということが一貫し た関心だ。

現実の経済の動きを学ぶゼミ

宮崎 浩伸 私のゼミでは、経済の時事的なテーマを扱っ ています。経済の時事問題について、全体の構 成を考え、経済データを利用して、プレゼンを行 います。 このような取り組みの中で、次の2点を身に付 けることを目的としています。 まず、第一に、日本経済新聞等を題材として、 グループ発表を行っています。新聞を読むこと は、就職活動を行う上ではもちろん、将来、社会 人になった時に、役立ちます。職場によっては、 日本経済新聞の記事を扱った勉強会を行っている 所もあるようです。ゼミでの発表を通じて、新聞 を読むことを習慣にしたいと思っています。 第二に、パソコンを使ったデータ分析の手法 を身に付けます。現実の経済の動きを理解する

私のクラス みやざき ひろのぶ 経済学部経済学科 准教授

には、経済データの見方や読み方を知るだけ でなく、データのハンドリングができることが必要 です。このように、プレゼンやパソコン演習を通 じて、パソコンのスキルも身に付けてもらいま す。このような能力はビジネスの世界でも大い に役立つでしょう。 また、授業以外にも、コンパや合宿等を行い、 これらの活動を通じて、仲間との交流を深め、大 学生生活の良い思い出を作る場としています。な り、学生主体の楽しいゼミナールにしたいと思 っています。



International Friendship

日本語を勉強しながら国際交流ができる場所 ビアンカ・サンチェス(南山大学外人留学生別科 アメリカ合衆国出身) ジャパンプラザは、日本語を学ぶ機会をより 多くするとともに、日本語のレベルアップを図 るために、日本語だけでコミュニケーションをと るスペースとして2011年4月にプレオープン、 同年9月に名古屋キャンパスR棟2階に正式に オープンしました。 私は、2011年9月(秋学期)に来日し、外国人留 学生別科に入学するとすぐにジャパンプラザを訪 ねてみることにしました。宿題や勉強を助けて もらっただけではなく、リラックスして コミュニケーション がとれる場所だと 感じました。ジャパ ンプラザのチュー ターの方々もとても 親しみやすく、私



筆者ビアンカ・サンチェスさん(日本語を育んだジャパンプラザにて)

Information

◆ 2011年度学生部長表彰

個人もしくは団体が課外活動において特に優れた成績をおさめたとき、または課外活動に著しく貢献したとき、特に顕著な善行を認められたとき、学生部長表彰が授与されます。

Table with 3 columns: 個人名 (Individual Name), 所属名(男女別) (Affiliation), 対象となる主な活動 (Main Activities). Lists award recipients from various departments like Softball, Baseball, and Soccer.

〔団体〕10団体

Table with 3 columns: 団体名(男女別) (Team Name), 対象となる主な活動 (Main Activities). Lists award recipients from teams like Softball, Baseball, and Soccer.

◆ 2012年度 南山エクステンション・カレッジ 学生向け特別講座

社会が大学の卒業生に期待する水準は近年高まってきた。学生時代は自らのキャリアやスキルアップのチャンス。自分が将来どのような分野(職業)に進みたいかを見つけ、その目標に向けて早期に対策を立てることが肝要です。資格取得のためには、その「はじめの一步」が大切。南山エクステンションカレッジは、学生生活を充実させたい、将来の進路に役立つ資格を取りたい、いま持っているスキルを向上させたいなど、意欲ある学生に各種の講座(有料)を提供しています。

Table with 4 columns: 講座名 (Course Name), 開講期間 (Start/End Dates), 申込締切日 (Application Deadline). Lists various courses like Public Service Exam Preparation, Japanese Language, and Career Guidance.

申込・問い合わせ先 南山エクステンションカレッジ事務局(名古屋キャンパス1棟1階) Phone:052-833-6957 Fax:052-832-4306

寄付者ご芳名

「南山大学教育研究支援」へのご協力に感謝いたします。 加藤千麻様 大宮淳一様 西川雅彦様

南山大学 発行 学長室 〒466-8673 名古屋市長区山里町18 Phone: 052-832-3113(直通) E-mail:gaku-koho@nanzan.ac.jp http://www.nanzan-u.ac.jp/

南山大学広報誌

NANZAN bulletin vol.180 2012.3.20



名古屋キャンパス図書館(外観)



瀬戸キャンパス図書館(内観)

未来へつづく道。

NANZAN UNIVERSITY

Campus Topics

「第11回フランス語で歌うコンテスト」において、PRIX DE LA CHANSON 歌の道賞を受賞

2011年10月16日、東京の赤坂区民センターホールで開催されたJ'aime chanter実行委員会主催「第11回フランス語で歌うコンテスト」において、外国語学部フランス学科の児玉詩織さんが「PRIX DE LA CHANSON 歌の道賞」を受賞した。「フランス語で歌うコンテスト」は、2001年から毎年開催されている恒例イベントで、フランス語の発音はもちろんのこと、その歌唱力や歌詞の表現力も審査対象とされている。南山大学の入賞は昨年度に続き2年連続となる。



賞状をもつ児玉さん(名古屋キャンパス本部棟にて)

「第43回全日本学生フランス語弁論大会」において、在京都フランス総領事館賞を受賞

2011年11月12日、京都外国語大学で開催された第43回全日本学生フランス語弁論大会において、外国語学部フランス学科の神谷祥世さんが「在京都フランス総領事館」賞を受賞した。この大会は、今年で第43回を迎える伝統のある大会。神谷さんは、「日本の教育について思うこと」をテーマに弁論を行い、受賞した。



トロフィーをもつ神谷さん(名古屋キャンパス本部棟にて)

「高円宮杯第46回全日本スペイン語コンクール」において、西検中央委員会会長賞を受賞

2011年11月19日、財団法人日本スペイン協会ホールで開催された「高円宮杯第46回全日本スペイン語コンクール」において、短期大学部英語科1年の松原寿美さんが西検中央委員会会長賞を受賞した。松原さんは、アルゼンチンでの異文化体験をテーマに見事なスピーチを披露し、西検中央委員会より賞状のほか、副賞としてメキシコ留学のための奨学金と航空券が贈られた。



左:高円宮妃殿下 右:賞状と記念品をもつ松原さん(表彰式にて)

「第5回学生通訳コンテスト」において、週刊ST賞を受賞

2011年12月3日、名古屋外国語大学で開催された「第5回学生通訳コンテスト」5th Annual Student Interpretation Contest」において、外国語学部英米学科の光崎彩香さんが週刊ST賞(ジャパンタイムズ賞)を受賞した。このコンテストは、日本人スピーカーとネイティブスピーカーが舞台上で繰り広げる討論を、その場で英語、日本語に通訳し、その発音や内容の正確性を競うもので、英語のリスニング力、読解力、要約力はもちろん、専門用語を適切に訳すための教養や知識も必要となる。5回目となる今回は、東京外国語大学、京都外国語大学など全国の大学代表が出席し、光崎さんは見事入賞を果たした。



賞状をもつ光崎さん(名古屋キャンパス本部棟にて)

「ISFJ日本政策学生会議政策フォーラム2011」において、分科会賞を受賞

2011年12月17日・18日、慶應義塾大学三田キャンパスならびに帝京平成大学池袋キャンパスで開催された「ISFJ日本政策学生会議政策フォーラム2011」(経済産業省後援)において、本学総合政策学部総合政策学科の寶多康弘ゼミの学生たちが、環境政策分科会の最優秀賞となる「分科会賞」を受賞した。ISFJ日本政策学生会議は、学生の提言で未来を創ることを目指し活動する学生組織であり、今年の政策フォーラムにも全国の大学から多数の参加があった。



寶多ゼミの講義風景(瀬戸キャンパスにて)

